

社会福祉法人直方市社会福祉協議会（市社協）は、地域の福祉活動を推進するための団体であり、その正常化とは、以下のような取り組みを指します。

社会福祉協議会の正常化に向けた取り組み

- ガバナンスの強化**
 - 役員や理事の選任プロセスの透明性を確保し、適切な人材を配置する。(理事推薦の恣意性排除)
 - 定期的な内部監査や外部監査を実施し、不正行為を防止する。
- コンプライアンスの徹底**
 - 法律や規則の遵守を徹底し、倫理的な行動を促進するための研修や教育を行う。
 - コンプライアンス違反に対する厳格な対応を確立する。
- 透明性の向上**
 - 財務報告や活動報告を公開し、地域住民や支援者に対する説明責任を果たす。
 - 情報公開制度を整備し、問い合わせや意見に迅速に対応する。
- 地域との連携強化**
 - 地域住民や住民団体及びボランティア団体との協力を推進し、共に地域の福祉課題に取り組む。
 - 地域のニーズを把握し、それに応じたサービスやプログラムを提供する。
- 効率的な運営体制の構築**
 - 業務プロセスの見直しを行い、効率的かつ効果的な運営を実現する。
 - IT技術を活用し、業務の効率化とサービスの向上を図る。

市社協の正常化の意義は、第一に信頼の回復と維持であり、市社協に対する地域住民の信頼を回復し、その信頼を維持することが重要です。信頼は地域福祉の推進に欠かせない要素です。正常化された市社協は、持続可能な形で地域の福祉活動を支えることができるようになります。これにより、地域全体の福祉水準の向上が期待されます。そして、地域のニーズへの迅速な対応、正常化された組織は、地域のニーズに対して迅速かつ柔軟に対応することが可能になります。市社協の正常化は、地域福祉の向上に直結する重要な課題です。そのためには、組織全体の改善と地域との協力が必要不可欠ですが、市社協の運営に関して、独善的傾向が顕著であり、加えて、排他的組織運営も随所に認められるところ。そのようなわけで市社協の問題点は以下の通りです。

- 透明性の欠如**
 - ・意思決定過程が不透明で、外部からの監視や意見が反映されにくい。

- 職員のモラル低下**
 - ・独善的な組織文化が広がることで、職員の士気が低下し、サービスの質が低下する。
 - ・内部告発や意見の表明が困難な環境が生まれる。
- 職員の意見を尊重**
 - ・職員の意見を聞く場を設け、自由に意見を表明できる環境を整える。
 - ・職員の研修やキャリア支援を充実させ、士気を高める。
- 地域との連携強化**
 - ・地域住民や他の福祉団体との連携を強化し、情報共有や共同プロジェクトを推進する。
 - ・地域のニーズを把握し、それに応じたサービスを提供する。

市社協の独善化を防ぐためには、これらの対策を通じて透明性と参加型の運営を実現し、地域社会全体との信頼関係を築くことが重要ですが、残念ながら市社協の理事会では、少数の意見は切り捨てられています。しかしながら、市社協は地域の福祉向上を目的としており、多様な意見やニーズを反映させることが重要です。少数意見の軽視は、次のような問題を引き起こす可能性があります。

- 少数意見が無視されることで、コミュニティ内の対立や分断が生じることがあります。これにより、社協の目指す「共に生きる社会」の実現が困難になります。
- 少数意見が軽視されると、地域住民や関係者の信頼を失うこととなります。市社協の活動に対する信頼が低下すると、協力や支援が得にくくなり、効果的な運営が難しくなります。
- 多様な意見を取り入れることで、より創造的で効果的な解決策が生まれる可能性があります。少数意見を切り捨てることは、多様性を欠いた偏った意思決定を招き、問題解決能力を低下させるリスクがあります。

自公連は市社協に対して、両団体の協力関係を強固にする目的で、「両団体のトップ会談」の申し入れを複数回行っていますが、そのたびに、市社協の一尾会長は、市社協の理事会などで、「前古賀章子会長が辞任された経緯を歪めて説明し」、「あたかも自公連関係者が、前記古賀さんに対して不当な対応を行った」と、事情を知らない人を誤信させる発言を繰り返していますが、真実は、前号でも触れましたが、元古賀会長が会長の『日本赤十字社 特殊赤十字奉仕団 胞子の会』に係る活動助成金に関して、市社協に対して関係書類等の提出を求めたに過ぎず、その行為は法の要請に則したものであり、何ら不当と言われるものではないことは明らかです。元古賀会長の辞任に関しての真相については、決して闇に葬ることなどあってはならないことと料します。

以上から、自公連と市社協との「トップ会談」が早期に実現するよう、これからも本部専門委員会は努力してまいります。

令和6年度 直方市自治区公民館連合会定期総会の報告

令和6年5月24日10時より、直方市役所8階大会議室にて『令和6年度直方市自治区公民館連合会定期総会』が開催されました。当日総会では松尾直記副会長が司会を務め、秋吉恭子副市長（市長代理）・田代文也市議会議員・渡辺幸一市議会副議長に来賓としてご参加いただきました。

また、公務によりご参加いただけなかった香原勝司県議会議長からは祝電を頂戴いたしました。

なお、今総会は、参加者52名、委任状36名で自公連規約第14条の規定により総会は成立し、弘 信之様（中泉校区）が議長を務められ、各議案は拍手による賛成多数ですべて承認されました。



田代英次会長



ご来賓の秋吉恭子副市長・田代文也市議会議長・渡辺幸一市議会副議長



弘 信之議長



溝堀あびす

どうぞお越しください!

安家 繁商 安交 豊五
全内 盛売 全通 積穀



日時：令和6年12月1日(日) 7時から10時まで
場所：下境稻荷神社（溝堀1丁目）
参加費：無料
福引券：前売り2,000円 当日2,300円
問い合わせ先：澁川 浩【080-3224-1122】

校区・自治区公民館
からのお知らせ募集!!

あなたの地域や校区のイベントやお知らせを掲載してみませんか？
掲載スケジュールは、年3回（6月・11月・2月）です。
※申し込み/自公連本部専門委員会・事務局（TEL070-1990-4172）



自分たちの「まち」は
自分たちで守る!!

直方市自治区公民館連合会

みんなで「住んで良かったと思えるまちづくり」直方市自治区公民館連合会は”1チーム”!

発行担当：自公連本部専門委員会・事務局（TEL070-1990-4172） / 発行協力：直方市役所 防災・地域安全課

感謝状贈呈

当自公連の活動・発展に多大な功績を収められ、地域の振興発展に、ご尽力いただきました方への表彰を行いました。

【受賞者】

田村 光男 様
（前下境校区理事）

岡田 勝美 様
（前上頓野校区理事）

飯野 哲夫 様
（南校区 前尾崎自治区公民館館長）



岡田勝美氏



飯野哲夫氏

市長会談及び直方市議会正副議長会談 令和6年6月7日(金)

令和6年6月7日14時から市長会談、同日、15時から直方市議会正副議長会談を行い、令和6年度総会へのご参加の御礼並びに今年度の自公連の取り組みについてご報告させていただきました。



市長会談



直方市議会正副議長会談

令和6年度 直方市自治区公民館連合会事業計画 (令和6年7月～令和7年3月)

7月5日(金)	拡大事務局会	ティのおがた
7月24日(水)	同和問題講演会【ユメニティのおがた大ホール】	広報まちづくり(第11号)
8月7日(水)	福岡県公民館大会【久留米シティプラザ】	12月6日(金) 正副会長会議
8月30日(金)	直方市議会正副議長会談	12月13日(金) 理事会
9月6日(金)	正副会長会議	1月10日(金) 第1回役員選考委員会
9月13日(金)	理事会	市長新春会談
9月27日(金)	直方市環境衛生連合会との合同視察研修	直方市議会正副議長新春会談
10月19日(土)	第3回校区対抗パークゴルフ大会【植木桜つつみ公園パークゴルフ場】	1月17日(金) 第2回役員選考委員会
11月8日(金)	まちづくり研修会	1月24日(金) 福岡県実践交流会【宗像ユリックス】
11月16日(土)	チューリップ球根植え	2月7日(金) 拡大事務局会
11月下旬	人権問題講演会【予定：ユメニ	2月下旬 広報まちづくり(第12号)
		3月7日(金) 正副会長会議
		3月14日(金) 理事会
		3月15日(土) チューリップ除草作業

令和6年度 事業計画重点課題

1. 自公連内の連絡調整と情報交換

- 定期的な校区単位での館長会議実施の推奨

2. 地域活動の調査研究と実践

- 区長マニュアル、隣組長マニュアルを使用した研修会
- 加入促進推進分科会(加入促進・脱退防止等への取り組み)

3. 健康づくり、レクリエーション、生涯学習、青少年育成

- 地域住民の福祉の向上に向けて(直方市社会福祉協議会の正常化)
- 『募金活動等支援推進対策本部の設置』による募金活動等への取り組み
- 地域福祉・環境推進分科会

4. 地域の安全・安心確立のための防災・防犯活動の推進

- 市民の安全安心に関わる取り組み(全校区に自主防災組織設立、コミュニティ無線の拡大、基地局の増設)
- 防災・防犯推進分科会

5. 校区活動の支援

- 地域担当職員配置に係る要望について

6. 行政との意見交換、協働体制の構築

- 出前トークを活用した各校区単位での意見交換実施の支援
- 自公連と直方市の連携強化(要望事項の消化が希薄)

各委員の紹介

◆加入促進推進分科会

令和6年5月31日(金) 令和6年度第1回加入促進推進分科会を開催しました。

今年度の分科会の取り組みとして「のぼり旗」「加入促進チラシ」等を作成し、地域全体で自治区公民館への加入促進活動を展開して行きますのでご協力をお願い致します。

加入促進推進分科会委員 ◎座長 ○副座長

氏名	澁川 浩	○金本 暁幸	和氣 幸男	中井 征司	弘 信之	◎安田 幸生
校区	南校区	北校区	西校区	新入校区	中泉校区	福地校区
氏名	緒方 友信	大石 巖	上川 光明	永富 允生	梶原 栄亮	
校区	下境校区	感田校区	上頓野校区	東校区	植木校区	(順不同・敬称略)

◆防災・防犯推進分科会

令和6年5月31日(金) 令和6年度第1回防災・防犯推進分科会を開催しました。

今年度の分科会の取り組みとして、昨年度直方市へ提出した提言書を基に、「防犯灯の電気代に係る自治会負担の軽減」「自主防災組織の組織化の強化推進」「水難事故防止対策」「防災無線の利用拡大」を推進いたします。

防災・防犯推進分科会委員 ◎座長 ○副座長

氏名	橋本 幸三	吉永 俊嗣	和氣 幸男	鈴木 慎二	林 信一	◎仲野 照明
校区	南校区	北校区	西校区	新入校区	中泉校区	福地校区
氏名	緒方 友信	井上 哲夫	上川 勝義	○小林 貞夫	棟形 和義	
校区	下境校区	感田校区	上頓野校区	東校区	植木校区	(順不同・敬称略)

◆各校区の広報担当者

氏名	澁川 浩	秋吉 勝行	和氣 幸男	岸田 太吉	堀 孝	仲野 照明
校区	南校区	北校区	西校区	新入校区	中泉校区	福地校区
氏名	緒方 友信	大石 巖	上川 勝義	小林 貞夫	松尾 直記	
校区	下境校区	感田校区	上頓野校区	東校区	植木校区	(順不同・敬称略)

直方市環境衛生連合会表彰式の報告

令和6年5月24日 直方市環境衛生連合会の総会において、令和6年度環境衛生優良地区に「永満寺区自治会」と「福岡県立直方高等学校」の2団体が、また、環境衛生優良地区功労者に「渡辺幸一様(東校区)」が表彰されました。日頃のご活躍に敬意を表しますとともに心よりお喜び申し上げます。おめでとうございます。



渡辺幸一様(東校区)



永満寺区自治会 仲野照明公民館長



福岡県立直方高等学校 杉野晴一校長

